

ニュース・リリース

(日本語抄訳版)



2022年1月21日

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

業界 No.1 メッセ「wire」「Tube」、初夏に延期

新日程は2022年6月20-24日、デュッセルドルフで開催

メッセ・デュッセルドルフはパートナーおよび関連団体との協議の末、wire/Tube を2022年6月20-24日に延期します。現状の感染状況とオミクロン変異株の急拡大により、デュッセルドルフで開催されるメッセの日程調整が行われ、当初5月9-13日に予定されていた wire/Tube の日程も変更されました。

会期が延期されることにより確実な準備が可能になり、さらに、すでにVDW（ドイツ工作機械工業会）が6月21-24日に延期した金属加工技術展「METAV」とのシナジーにより、付加価値が生まれることが期待されます。

メッセ・デュッセルドルフ社 CEO のヴォルフラム N・ディーナーは新日程について、「出展者の間では wire/Tube はやりたいし必要だけれども、最も成功する見込みがある時期の開催がよい、という論調でした。パートナーや関係団体と同じく、初夏は理想的な時期だと私どもも考えています。感染が落ち着くだけでなく、より多くの人ドイツに入国し、メッセに参加できるようになっているという期待があります。これにより、出展者も来場者も、Covid-19の影響をより受けにくい環境でビジネスを行うことができるのでは」と強調します。

それぞれの世界業界 No.1 メッセとして、wire/Tube は世界中から注目を浴びており、準備には特に長いリードタイムが必要です。すべての出展者のうち2/3 ドイツ国外からの出展者です。

またピーク時には80を超える国から来場者がデュッセルドルフのメッセ会場へ足を運びます。2022年6月20-24日という新日程により、業界の皆様は確実にプランニングをしていただけることでしょう。

メッセ・デュッセルドルフの金属・流動技術ポートフォリオの統括ディビジョンマネージャーであるベルント・ヤブロノフスキは、「長引くこのパンデミックという状況下において、出展者、来場者、そして展示会業界全体にとって、プランニング・セキュリティは最重要項目です。業界のトップイベントである wire/Tube を初夏に移動させることで、状況に応じ、安全かつリアルなメッセ体験をお届けすることができます。」と確信をもって述べます。

wire/Tube のプロジェクト・ダイレクターであるダニエル・ライフィッシュはさらに、「6月20日から24日まで、デュッセルドルフで30年以上にわたり業界のハイライトとなってきた wire/Tube を、再び私どもと一緒に盛り上げてくれる出展者とパートナーの皆様のご理解とご協力に感謝します。」と付け加えます。

wire はホール 9-15、Tube はホール 1-7a で、出展者の最新技術動向にふれることができます。

ゲストイベントとして、VDW（ドイツ工作機械工業会）主催の金属加工技術の国際的展示会 METAV も 2022 年 6 月 21-24 日にホール 16-17 で開催されます。

- wire/Tube のプレスリリース（英語オリジナル）は[こちら](#)からご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：富田

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 Mail: mdj@messe-dus.co.jp